

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 9 日 (2017.3.9)

【公開番号】特開 2014-166136 (P2014-166136A)

【公開日】平成 26 年 9 月 8 日 (2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2014-048

【出願番号】特願 2014-33000 (P2014-33000)

【国際特許分類】

H 0 2 M 1/08 (2006.01)

H 0 2 M 7/537 (2006.01)

H 0 2 M 7/5387 (2007.01)

H 0 2 M 3/28 (2006.01)

H 0 2 M 3/155 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 1/08 A

H 0 2 M 7/537 E

H 0 2 M 7/5387

H 0 2 M 3/28 T

H 0 2 M 3/155 T

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 1 日 (2017.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

したがって、キャパシタ C a に、第 2 のトランジスタ T 2 のゲート G の放電およびトランジスタ T 2 のドレイン - ソースの浮遊容量 C o 2 の充電によって電荷が自動的に供給される。この自動的な電力の供給は、第 1 のトランジスタ T 1 を オフ にする段階において生じる。この段階において、ツェナーダイオード D z 1 がクランプされ、逆方向に導通する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

図 5 A : 制御ユニット U が、第 1 のトランジスタ T 1 のゲート G に ターンオフ 信号を送る。第 1 のトランジスタ T 1 のドレイン - ソース電圧 V_{DS1} が高まり始め、ツェナーダイオード D z 1 の端子間の電圧 V_{Dz1} の上昇をもたらす。電流 I p (変圧器の一次電流) が、第 2 のトランジスタ T 2 のゲート G を通って流れ、ツェナーダイオード D z 1 の浮遊容量 C z、第 1 のトランジスタ T 1 の浮遊容量 C o 1、およびキャパシタ C a の容量を充電し、コンバータのダイオード D 1 の浮遊容量 C p を放電する。この電流 I p が、ツェナーダイオード D z 1 の端子間の電圧 V_{Dz1} およびキャパシタ C a の端子間の電圧 V a の上昇を可能にする。また、第 2 のトランジスタ T 2 のゲート G の放電も可能にする。しかしながら、第 2 のトランジスタ T 2 は依然として導通状態である。